

『小学生のためのエコ学習トランク教室—第1回』報告書

■目的 21世紀を生きる子どもたちに、地球温暖化の現状と原因を伝え、温暖化防止の為に自分たちにできることを学んでもらう。又、参加した子ども達を通して、温暖化防止活動が家族全員に伝わることを期待し、「小学生のためのエコ学習トランク環境教室」を実施した。

■開催日

日時 2016年7月27日(水) 10:00~11:30

■会場 厚東ふれあいセンター 講堂

■参加者 1~5年生 14名

■講師 溝田 忠人(お話)

名越 久美 (紙芝居)

殿河内 誠 (〇〇トランク)

■スタッフ 殿河内、松井

■内容

(1) お話「うべのすてきなものをたくさんみつけよう」

身近な自然に面白い生き物や植物があること、自然にふれることの楽しさや面白さを知る。

(2) 紙芝居「いのちはつながっている」—生物多様性を考えよう!—

地球は、大昔から様々な生物がつながりあって生きてきた、それが人間のせいで絶滅するかもしれない、生物の多様性を守ることを知る。

(3) ビデオ「いのちはつながっている」

奄美大島の環境教育と食の連鎖のアニメーション

(4) 〇〇ボックス(生物多様性)

様々な動植物を描いたダンボールブロックを食物連鎖の階層別に積み上げる、積み上げたブロックを抜くと全体が壊れてしまうゲームをとおして生物多様性の必要性を学ぶ。

(5) ソーラーカーで遊ぶ

■感想・その他

(1) 子どもたちが積極的に質問に答えてくれた。

(2) 〇〇ボックスは、子ども達が食の連鎖を遊びながら理解できるので良かった。

(3) アンケートでは「面白かった」という答えが凡そ半数であった。テーマが違うが、昨年は90%近くが「面白かった」と答えており、要因を検討し、より「面白い」教室を目指したい。

(4) エコについてアンケートの回答は、「実施している」6%、「実行したいと思う」22%であり、期待値(合計50%以上)を下回った。

■写真



写真-1 溝田先生のお話



写真-2 紙芝居



写真-3 ビデオをみる



写真-4 ○○ボックスゲーム



写真-5 食の連鎖を学ぶ



写真-6 ピラミッド完成



写真-7 記念撮影



写真-8 ソーラーカーで遊ぶ

以上